

# 平成30年度 事業計画書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

## 1. 運営方針

地域の住民組織として、子どもの健全育成を担う子ども会は、平成25年度からの過去5年において、全国的に役員の高齢化や担い手不足等から、活動の縮小や組織の解散傾向にあり、札幌市においても同様に、会員組織の弱体化・減少の傾向にあります。

また、少年リーダー養成研修に主眼を置いた当連合会に対する市委託業務については、札幌市の財政状況等を反映し、毎年度、委託業務費が削減される傾向にあります。

このように、地域の公益的・中核的な子どもの健全育成活動を担う当連合会の社会経済環境は、公益法人改革で平成25年4月に公益社団法人に移行した以降も厳しさを増しています。

よって、子ども会や子ども会員の減少、札幌市の委託業務の適正化・委託業務費の削減などを見据え、**短・中期的な視点に立ち、事業・運営・財務に関する大幅な見直しが必要**な状況にあります。

そこで、当連合会の設立目的の達成及び継続・安定的な事業推進のため、**前身の社団法人から創設50年の節目を迎える平成34年度を念頭に置き、平成30年度は当連合会の運営基盤の再生に向けて取り組むスタートの年次**といたします。

## 2. 運営基盤の再生プラン

### 1) 公益目的事業の拡充による子どもの参加促進及び協賛金の増大等

公益目的事業は、札幌市の委託業務・補助金事業と自主事業との調整を図りながら、それぞれ特性・制約を十分踏まえつつ積極的に事業展開し、子ども健全育成事業の拡充を図ります。

このために、小学校等を通じて、子どもに分かりやすく・興味を引くPRチラシの配布やホームページを活用した情報発信により、子どもの参加拡大による会費・参加費の増大に取り組みます。

また、都道府県・市町村の子ども会連合会で、唯一、公益社団法人に認定されている当連合会の社会的な特性を活かし、教育機関・企業・法人からの特別協力や協賛など、当連合会への協力連携の仕組みを拡大させるほか、個人・法人から寄付金募集の仕組みづくりを進めます。

### 2) 職員体制及び雇用条件の見直しによる経常収支のバランス確保

継続・安定的な法人運営を確保するため、下記のとおり、全体事業費の約72%を占める人件費を5%減の約67%まで圧縮し、常務理事を除く常勤職員総数を24名とします。(29年度は29名)

併せて、事務局機能の強化に向け、職種の新設、勤務時間の延長、職種・役職に応じた給与改善、管理職の定年引き下げなど、総合的に事務局職員の雇用条件を見直します。

★ 本部事務局:4名(常務理事を除く)

【内訳】 総合職:事務局長1名 職員1名

研修職:事務局次長1名 職員1名(当面は、育休復帰後の時短職員1名の配置)

★ 区支部事務局:20名(1区2名)

【内訳】 研修職:区事務局長10名、職員10名

### 3) 有資格者の適材配置及び人材の育成・活用による組織・業務推進力の強化

業務関連の有資格者を適材配置するとともに、職員研修による事業・業務の効率化・質的向上、組織管理の強化のほか、業務関連の有資格者を中核とした業務プロジェクト組織の設置による研修事業の共通化、事務・経理処理の効率化・統一化・経費の節減を推進します。

併せて、平成29年7月導入の情報ネットワークの積極的な活用を図り、事務局長会議・職員会議等を開催し、情報共有や情報交換の場を拡充し、組織・業務推進力を高めます。

### 3. 公益目的事業別の計画概要

#### 1) 体験交流事業

##### (1) さっぽろの子どもを育む事業

札幌の子どもたちが豊かな感性を育み、心身ともに健全な青少年として成長することを目的に開催される事業において、少年リーダーの発想が活かされるような活動を推進します。

##### ① 『札幌市子ども大会～10の星フェスティバル～』

- ☆ 時期・場所・参加人数:平成30年10月20日(土) スポーツ交流施設「つどーむ」500名
- ☆ 特別協力:一財)さっぽろ健康スポーツ財団 協賛:東洋水産(株)、北海道ココロラボトリング(株)  
<本部所管・区支部協力:札幌市の補助金事業>

##### ② 子ども会学校

集団での体験活動の機会が少ない子どもに、豊かな自然の中で体験事業を推進します。各区支部主催のほか、他団体との共催又は実行委員会による実施方法とします。

このほか、各区支部の特性・特色を生かした様々な事業を実施します。

- ☆ 子ども会学校(区主催:中央区・北区・東区・白石区・厚別区・豊平区・清田区・手稲区)
- ☆ 子ども会学校(区支部共催又は実行委員会:南区・西区)
- ☆ 稲刈り体験(中央区)、百人一首かるた大会(白石区)、区民まつりへの参画(北区・東区・厚別区・清田区・西区・手稲区)、子ども体験塾(清田区)、ジャンボリー(南区)  
<区支部所管:一部、札幌市の委託業務(地域と連携した子どもの健全育成事業)>

##### (2) 子どもまつり開催事業

各区支部の特色を生かし、区内の多くの子どもや地域住民が参加したくなる子どもまつり事業を開催します。各区支部の状況に応じた実施方法とします。

- ☆ 子どもまつり(区支部の主催:北区・清田区・手稲区)
- ☆ 子どもまつり(区支部の共催・実行委員会等:中央区・東区・白石区・厚別区・西区))
- ☆ ノースロード(北区)・遊芽カーニバル(白石区)

##### (3) 子どもの居場所づくり事業<実施回数の拡大>

地域で多くの子どもがいきいきと参加・活動できる居場所を開設し、ジュニアリーダー研修生の体験・実践する場を設けるとともに、子ども・育成者等の交流の輪を広げていきます。

- ☆ 60回程度(各区支部の特性・特色を生かし、区民センター・小学校・地区会館などで開催)  
<区支部所管:一部、札幌市の委託業務(地域と連携した子どもの健全育成事業):>

##### (4) 大志塾事業<魅力アップ>

大志塾広場の廃止を踏まえ、北海道開拓の村で開催します。

※ 会場は、平成30年度が北海道開拓150周年に当たり、事業の目的・内容・PRに有益と判断。

- ☆ 開催期間・回数:平成30年5月19日(土)～9月29日(土) ※ この間に4回開催
- ☆ 参加人数:120名(延べ480名)
- ☆ 特別協力:一般財団法人北海道歴史文化財団(北海道開拓の村の施設管理者)
- ☆ 参加募集チラシ(小学校経由 10万枚 ※ 別紙のとおり)  
<本部所管・区支部協力:札幌市の委託事業>

##### (5) 野外活動推進事業

子どもの健全育成事業として、野外活動を促進させる観点から、札幌市青少年キャンプ場等を利用し、支部主催のキャンプ事業を開催します。

区支部キャンプ等(中央区、北区、白石区、厚別区、豊平区、手稲区)

<区支部所管:一部、札幌市の委託業務・補助金事業>

##### (6) キャンプ場管理運営事業<利用回数の増大>

札幌市設置の青少年キャンプ場<西岡(豊平区)、小野幌(厚別区)、カッコウの森(手稲区)>を管理運営します。併せて、少年リーダー養成研修や子どもの健全育成事業等で、積極的に活用するほか、中学校の炊事遠足、青少年育成団体・グループへのPRを実施します。

- ☆ 利用者数の目標:延べ120団体 6,700名(対前年度比、利用者5%増)
- ※ 平成29年度実績:延べ118団体 6,396名(大志塾広場を除く3カ所)
- <本部所管・区支部協力:札幌市の委託業務>

## 2) 育成事業

### (1) ジュニアリーダー養成研修事業

「心とワザを磨こう！～子どもにとって魅力のあるリーダーを育てよう～」をメインテーマに、社会や家族、周囲に感謝する気持ちが育まれるよう、ジュニアリーダーを養成します。

<本部・区支部所管:札幌市の委託業務>

#### ① ジュニアリーダー基本研修

(養成研修:小学5年生以上 初級:中学1年生以上 中級:中学2年生以上)

養成研修では、地域における子どもの健やかな成長を育むため、集団活動に必要な基礎的知識や技術を習得させ、活動の中心となるリーダーを養成します。

初級・中級研修では、養成研修等の基礎的知識や技術を習熟させ、小学生に対してリーダーシップが発揮できるよう、地域に即した実践的で質の高いリーダーを養成します。

また、年度当初に小学校を通じて、養成研修生の参加募集を実施します。

- ☆ 参加募集チラシ(小学校5～6年生対象 2万枚 ※ 別紙のとおり)
- ☆ 50回(1区5回、宿泊2回以上)

#### ② ジュニアリーダー基本研修(上級)

これまでのジュニアリーダー研修で得た知識及び技術を更に向上させ、集団生活における高度な指導力及び豊かな創造力を持つリーダーを育成します。

- ☆ 6回(宿泊3回以上)

#### ③ テーマ研修 (新規事業)

防災、救急救命など、日常生活に密接な関係のあるテーマに沿って知識や技術を学ぶとともに、異なった学年が一同に集まって研修する体験を通じてリーダーを育成します。

- ☆ 11回(宿泊:本部1回、テーマ:区支部10回 ※ 事務局を中心に実施)

#### ④ 地域と連携した子どもの健全育成事業 (旧実践研修)

地域において、さまざまな世代が、お互いに協力することや相手を思いやることの大切さを学ぶとともに、顔の見える関係を形成するきっかけづくりの事業を実施します。

- ☆ 上記の居場所づくり事業・野外活動推進事業(支部キャンプ)を参照。

#### ⑤ 教育機関や企業・団体等との連携事業 (新規事業)

当連合会の社会的な役割を踏まえ、新たに子どもに楽しみを感じてもらえるよう、教育機関や企業・団体等との協力連携を図るとともに、本部・区支部が協働して、子どもの健全育成事業の拡充にチャレンジします。

- ☆ 3回(本部・区支部の協力連携事業 ※ 事務局を中心に実施)

### (2) リーダー研修事業

ジュニアリーダーやシニアリーダーが地域で実践的活動を実施するため、区支部修了生の会の活動を支援するほか、ジュニアリーダー活動の活性化を働きかけていきます。

また、ジュニアリーダーを各種研修会に派遣し、他都市との情報交換によって、意欲を高めるほか、必要な知識や技術の修得を図り、各支部の活動に生かしていきます。

- ☆ 指定都市リーダー会議 :平成30年8月3日(金)～5日(日) 相模原市で開催
- ☆ 全子連シニアリーダー会議 :平成30年9月22日(土)～23日(日) 東京都で開催
- ※ 区推薦の派遣研修人数は、当連合会の財政状況を勘案して年間5名。
- ☆ 北海道キャンプの特別協力:平成30年8月9日(木)～12日(金) 国立大雪青少年の家で開催
- ※ 支部事業等に配慮したうえで、希望するジュニアリーダー上級生を派遣。

### (3) 育成者支援事業

区支部育成者を対象に、子ども会事業の活性化に向け、他都市や他区支部の事例紹介や交流促進を図る研修会のほか、各区支部の実情に沿った研修会を開催します。

☆ 平成30年秋～冬 <本部所管:札幌市の補助金事業>

また、各種研修会に育成者を派遣し、少年育成団体に関する諸課題や他都市の取り組みを学び、地域活動に還元します。

☆ 第55回 指定都市研究協議会:平成30年11月23日(土)～24日(日) 名古屋市で開催

☆ 第51回 全子連中央会議 :平成30年 7月14日(土)～15日(日) 名古屋市で開催

※ 平成29年度の開催であったが、ずれ込んだため。

☆ 第52回 全子連中央会議 :平成31年 2月23日(金)～25日(日) 石川県金沢市で開催

※ 平成30年度分からの区推薦の派遣研修人数は、当連合会の財政状況を勘案し、年間5名。

### (4) 職員研修事業

子どもたちを指導できる資質やワザを磨くとともに、業務の効率化・質的向上や組織管理の強化など、事務局機能の拡充・強化に向けた職員研修を実施します。

☆ 平成30年4月～6月:11回 11月～12月:4回

<本部所管:一部、札幌市の補助金事業>

### (5) 指導員派遣事業

指導者等がない地域支援のため、『この指とまれ!』事業として、札子連登録のジュニアリーダー及びジュニアリーダー上級研修生を派遣し、安全で円滑な子ども会活動を支援します。

☆ 野外活動・キャンプ等で必要な技術、レクリエーション、KYT等の指導

### (6) 子ども会活動活性化事業

子ども会事業のうち、地域で子どもと大人との交流や地域への愛着を育む事業に対し、区支部で「地域ふれあい体験事業」として助成を実施します。(合計 20子ども会)

また各区支部で、地域の子どもの主体の事業(フォーラム・サミット・パネル展)を開催します。

### (7) 子ども会活動表彰事業

子ども会及び育成者組織として7年以上、子ども会の育成者として10年以上、活動を継続した団体・個人に対し、表彰状並びに記念品を贈呈して表彰します。

また、全国子ども会連合会には20年以上、指定都市子ども会育成連絡協議会には15年以上、継続して活動してきた団体・個人に対して、審査会を経て推薦します。

## 3) 普及啓発事業

### (1) 広報活動事業(子ども会PR事業含む)

子ども・保護者・地域の関係者に対し、当連合会や子ども会の意義や活動の楽しさを知ってもらうPR事業を年度当初に実施し、子ども会員の加入促進につなげていきます。

また、子どもの参加呼びかけは、積極的にPRチラシやホームページを活用するほか、事業・行事結果等の紹介は、各種広報誌との役割分担を考慮して実施します。

☆ 札子連PRチラシ:12万枚(小学校を通じた子ども配布分:10万枚、地域諸団体配布分:2万枚)

<本部所管・区支部協力:札幌市の補助事業>

☆ 目で見る札幌の子ども会(前年度の事業内容をもとに、新年度の事業計画を含めて紹介)

☆ さっぽろっ子(年3回:8月・11月・3月)

## 4) 安全会事業

### (1) 子ども会安全会事業

子ども会の活動・事業に安心して参加いただくため、子どもや育成者に安全共済会への加入を促進させるほか、全子連との契約業務により、共済金・見舞金業務等を実施します。

また、KYT(危険予知トレーニング)や安全に携わる研修事業を実施するほか、10年間無事故である子ども会に対し、賞状・記念品を贈呈して褒賞します。